

県議会 おおいた

No.130

大分県議会
令和5年6月発行

題字は、大分県立別府鶴見丘高等学校3年 宇都宮 珠実さんの作品です。



写真: 臨時会の様子

就任のごあいさつ



大分県議会議長
元吉 俊博
もとよし としひろ

先の第1回臨時会で第75代大分県議会議長に就任しました宇佐市選出の元吉俊博です。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行したことにより、足かけ4年に及ぶコロナ禍から、大きな一歩を踏み出しました。ようやく日常生活を取り戻しつつある今、社会経済再活性化はすぐに取り組みまなければならない喫緊の課題です。

また、想定を上回るスピードで進む人口減少、気候変動により頻発化・激甚化する自然災害、DXや先端技術への対応など、社会情勢のめまぐるしい変化を捉え、「新たな地方創生」の取組を加速させることは県政の最重要課題であると考えております。

県議会としてチェック機能を果たすことはもちろんのこと、県民に開かれた議会運営を実践するべく、県民皆様の声にしっかりと耳を傾け、執行部に対し積極的に政策提言を行うことでその負託に応えるとともに、県政と地域とのパイプ役としての役割を果たしていくため、県内の市町村議会や他県の議会との連携強化に取り組んでまいりたいと考えています。

今後とも、大分県の発展のため誠心誠意尽力してまいりますので、皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



大分県議会副議長
木付 親次
きづき しんじ

この度、第103代大分県議会副議長に就任いたしました国東市・姫島村選出の木付親次です。

新型コロナウイルス感染症の5類移行により、社会経済は正常化に向けて歩みはじめたところですが、国際情勢の不安定化等に伴う原油価格・物価高騰や、頻発化・激甚化する自然災害への対策等、課題は山積されており、また、少子高齢化、人口減少社会の進行により、住民ニーズや地域課題は今後さらに多様化・複雑化することが推察されます。

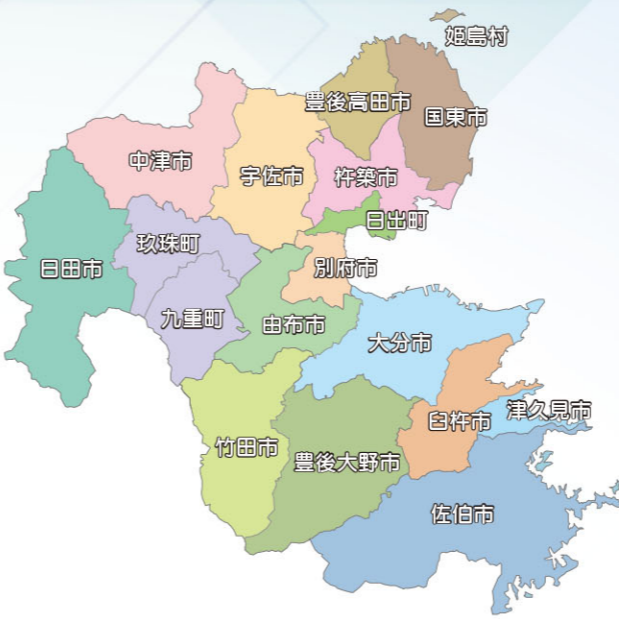
こうした中、地域の多様な民意を集約し、地域社会のあり方を議論する「議会」の役割は、より重要となっております。

公正・円滑な議会運営はもとより、議員提案条例の制定や政策提言等による政策立案能力の発揮、「出前県議会」や「大分県議会ユースモニター」など積極的な広報広聴の推進により、県民一人一人の声を真摯に受け止め、県政に反映させていけるよう、議長の補佐役として、全力で取り組んでまいります。

県民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

新議員誕生

新議員誕生



去る4月9日に県議会議員選挙が行われ、16選挙区から43人(初当選13人、再選30人)の議員が誕生しました。任期は令和5年4月30日から令和9年4月29日までの4年間です。

※選挙区ごとに、議席番号順で掲載しています。

自枿市

県民クラブ 高橋 肇	自由民主党 志村 学

佐伯市

県民クラブ 成迫 健児	自由民主党 清田 哲也	自由民主党 御手洗吉生

日田市

自由民主党 井上 明夫	自由民主党 中野 哲朗	自由民主党 岡野 涼子

宇佐市

志士の会 末宗 秀雄	県民クラブ 若山 雅敏	自由民主党 元吉 俊博

杵築市

自由民主党 阿部 長夫	自由民主党 長夫

豊後高田市

無所属の会 佐藤 之則	無所属の会 之則

竹田市

自由民主党 宮成公一郎	自由民主党 古手川正治

津久見市

自由民主党 古手川正治	自由民主党 古手川正治

大分市

公明党 澤田 友広	県民クラブ 守永 信幸	県民クラブ 木田 昇	県民クラブ 福崎 智幸	県民クラブ 御手洗朋宏	自由民主党 阿部 英仁	自由民主党 麻生 栄作	自由民主党 後藤慎太郎	自由民主党 首藤健二郎	自由民主党 穴見 憲昭	自由民主党 穴見 憲昭

九重町・玖珠町

自由民主党 小川 克己	自由民主党 克己

日出町

自由民主党 三浦 正臣	自由民主党 正臣

国東市・姫島村

自由民主党 木村 親次	自由民主党 親次

由布市

県民クラブ 二ノ宮健治	自由民主党 太田 正美

豊後大野市

県民クラブ 玉田 輝義	自由民主党 森 誠一

別府市

日本共産党 猿渡 久子	公明党 戸高 賢史	県民クラブ 原田 孝司	自由民主党 嶋 幸一	自由民主党 榎田 貢

大分市

日本維新の会 三浦 由紀	日本共産党 堤 栄三	公明党 吉村 哲彦

中津市

県民クラブ 吉村 尚久	自由民主党 大友 栄二	自由民主党 今吉 次郎

議会運営委員(13人)

- ◎御手洗吉生
- ◎首藤健二郎
- ◎大友 栄二
- ◎古手川正治
- ◎高橋 肇
- ◎二ノ宮健治
- ◎戸高 賢史
- ◎志村 学
- ◎太田 正美
- ◎三浦 正臣
- ◎嶋 幸一
- ◎木田 昇
- ◎玉田 輝義

文教警察委員会(7人)

- ◎森 誠一
- ◎御手洗吉生
- ◎御手洗朋宏
- ◎堤 栄三
- ◎古手川正治
- ◎中野 哲朗
- ◎木田 昇

土木建築委員会(7人)

- ◎太田 正美
- ◎宮成公一郎
- ◎高橋 肇
- ◎戸高 賢史
- ◎井上 明夫
- ◎三浦 正臣
- ◎原田 孝司

農林水産委員会(7人)

- ◎阿部 長夫
- ◎岡野 涼子
- ◎成迫 健児
- ◎末宗 秀雄
- ◎後藤慎太郎
- ◎元吉 俊博
- ◎二ノ宮健治

商工観光労働企業委員会(7人)

- ◎清田 哲也
- ◎榎田 貢
- ◎福崎 智幸
- ◎佐藤 之則
- ◎大友 栄二
- ◎麻生 栄作
- ◎澤田 友広

福祉保健生活環境委員会(8人)

- ◎今吉 次郎
- ◎志村 学
- ◎嶋 幸一
- ◎穴見 憲昭
- ◎吉村 尚久
- ◎久子
- ◎若山 雅敏
- ◎三浦 由紀

総務企画委員会(7人)

- ◎小川 克己
- ◎首藤健二郎
- ◎守永 信幸
- ◎吉村 哲彦
- ◎木村 親次
- ◎阿部 英仁
- ◎玉田 輝義

各委員会の構成

◎は委員長、○は副委員長 (R5.5現在)

改選後初の臨時会を5月18日、19日に開催し、正・副議長の選挙及び各委員会の委員の選任を行いました。また、監査委員の選任や大分県条例の一部改正についてなど、知事提出議案等2件を原案どおり同意・承認しました。

令和5年 第1回臨時会

令和5年
第1回定例会

2月27日から3月17日までの19日間、開催しました。

統一地方選挙を4月に控えていることから、人件費等の義務的経費や継続事業を中心とした令和5年度の当初予算（いわゆる骨格予算）案の議案などが提出され、知事が提案理由を説明しました。

3月6日には先議案件（緊急を要する補正予算案等）を審査し、3月8日から3日間にわたり行われた一般質問では、11人の議員が登壇し、執行部と活発な議論を行いました。また、各常任委員会を3月13日、14日に開催し、付託された議案等について審査を行いました。

知事提出議案51件、議員提出議案6件、委員会提出議案1件について可決し、閉会しました。また、今議会は議員任期4年の最後、さらに20年間の広瀬県政最後の定例会となりました。

各議員名欄にあるQRコードから、そのほかの質問を含めて、動画でご覧いただけます。

の水源である大蘇ダムや大谷ダムの健全化に取り組んでまいります。地域農業を永続的に発展させていくために重要な生産基盤の整備としては、畑かん施設（人工的な水の供給施設）や農地を担い手へ集積した圃場の大区画化、幹線農道などの整備に取り組んでいます。また、竹田市内においても、高収益な品目の導入による水稲主体の営農体系から脱却し、儲かる農業への転換を進めるとともに、次代を担う若い農業者の確保・育成にも取り組んでいます。



公明党
かわの 公明 河野 成司 議員

半導体関連産業の誘致

人材育成や適地の確保も含め、今後の半導体関連産業の誘致をどのように進めていくのか知事に伺います。

半導体と自動車関連産業が集積する九州の強みを發揮し、世界各国でのサプライチェーンの再構築の流れを本県にも着実に呼び込んでいきたいと考えています。

人材の確保については、大分工業高校での電子科増設など、各所で半導体産業を支える体制づく

一般質問
3月8日(水)



自由民主党
よした まさみ 太田 正美 議員

今後を見据えた観光振興

県内の宿泊客数はコロナ禍前の8割程度にまで回復するなど、観光業に明るい兆しが見えてきました。本県観光の魅力と、観光政策の方向性について知事の見解を伺います。

本県観光の最大の魅力は、豊富な観光資源と県民によるおもてなしの両面から旅行者をお迎えできることです。今後は、次の3つの観点から、本県観光の復活を進めてまいります。

1つ目は、大分ならではの新たな魅力の創出です。大自然を満喫できるコンテンツや、宇宙港、ホーパークラフトなど唯一無二の素材の開発を進めます。2つ目は、観光産業の基盤強化です。業務効率化や発信力、経営基盤の強化など、事業者の取組を支援してまいります。3つ目は、「住んでよし、訪れてよし」の観光・地域づくりです。観光客の満足度向上と住民の満足度や豊かさを高めてまいります。



大分工業高校1年電子科の電子回路設計・製作実習の様子

りを急ピッチで進めています。ニーズが高まっている大規模適地の確保については、臼杵市の野津東部工場用地の造成の調査・設計や、杵築市の八坂・東地区工業団地の地質調査など、進めています。

水の確保については、昨年10月から県内における水確保可能量の調査に着手するとともに、排水の再資源化の可能性などについて調査を進め、半導体関連企業へのアプローチを強化していきます。

また、今後の産業構造の転換等を見据え、蓄電池などの新たな産業にも目を向け、多様な案件を幅広く誘致することも大切です。



HOVOTA
ホボッタ
ホーパークラフト旅客ターミナル建設の様子



県民クラブ
おしま やすひこ 尾島 保彦 議員

大規模開発と自然保護

太陽光発電所をはじめとする大規模開発事業と自然保護との両立に向けた県の方針について、知事の見解を伺います。

カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入を進めながらも、自然環境や景観、生活環境との調和を図るため、次の3つの方針で取組を進めています。1つ目は、立地状況に応じた手続の強化です。平成29年には、発電事業を環境アセスメント手続きの義務づけの対象に追加し、令和

3月9日(木)



県民クラブ
はばやし えり 馬場 林 議員

ひとり親と困難な生活環境にある子どもの支援

ひとり親と困難な生活環境にある子どもへの支援についての現状と今後の取組について、知事の見解を伺います。

県では、令和3年3月に策定した「大分県ひとり親と困難な生活環境にある子どもの支援計画」の4つの柱に基づき、ひとり親家庭への支援と子どもの貧困対策に取り組んでいます。1つ目の「教育の支援」では、児童・生徒の困りに早期に対応するスクールソーシャルワーカーを、市町村教育委員会や拠点となる県立学校に配置しています。2つ目の「生活の支援」では、子ども食堂への支援に力を入れています。3つ目の「保護者への就労支援」では、県母子家庭等就業・自立支援センターが、ハローワークと連携しながら、相談から就職まで一貫した支援を行っています。4つ目の「経済的支援」では、ひとり親家庭に対して、児童扶養手当の支給や医療費の助成、

3年には、太陽光発電所設置の規制を強化しています。2つ目は、開発に伴う環境影響の低減です。環境アセスメントの審査にあたっては、「回避」「低減」「代償」の3つを基本とした影響緩和措置を求めます。3つ目は、景観の保全に対する配慮です。塚原のメガソーラー設置においては、少しでも周辺から見えにくくする植林を指導するなど、景観の保全に最大限の配慮を求めたところです。



自由民主党
よした ぎよひろ 吉竹 悟 議員

大野川上流地域等の営農振興

営農振興に必要な水の安定供給に欠かせない大蘇ダム、大谷ダムについての知事の思いと、竹田市全域での土地改良事業における基盤整備の今後の進め方について、知事の見解を伺います。

大野川上流地域では、慢性的な水不足が課題であり、用水確保に苦勞する地元農家の皆さんのダムへの期待を受け止め、高原野菜の一大産地づくりに向けた農業振興に取り組んできました。いまだに皆さんが望む用水確保に至っていませんが、今後も、地域



自由民主党
きよし けんじ 木付 親次 議員

行財政改革の成果と財政基盤

これまでの行財政改革の成果と、次世代に向け持続可能な財政基盤をどのように引き継いでいくのか、知事の見解を伺います。

知事に就任して以来、数度にわたり計画を示し、不断の行財政改革を徹底してまいりました。歳出については、職員定数の削減と給与の見直しに踏み切るとともに、大規模施設等の見直しなども行いました。歳入面でも、産業廃棄物税の創設や未利用県有地の売却など創意工夫して取り組みました。安定的な行財政基盤の構築に重要なことは、常に事務事業の効果を検証するとともに、職員の実行革マインドを高めることです。

また、財政基盤の安定には、企業立地を始めとする産業振興や定住・交流人口の増加など経済活性化政策の実施による県税収入の確保も重要です。

こうした取組によって、財政の健全性を保ちつつ、次の世代に繋

げられる財政基盤が構築できたと思えます。



県民クラブ
山田 正道 議員



エネルギー政策

Q 東日本大震災以降の我が国のエネルギー政策とエネルギー需給の現状をどのように捉え、本県のエネルギー政策に取り組みたのか、また、現時点での成果と課題、これからの方向性について知事の見解を伺います。

A エネルギーの供給不安に直面するリスクを抱える日本では、「S+3E」のエネルギー政策の原則が重要です。

こうした中で、本県では平成15年に「大分県エコエネルギー導入促進条例」を施行するなど、長年にわたり、エコエネルギーの導入を積極的に進めてきました。現在では、本県は全国2位の再生可能エネルギー自給率を誇ります。

自然環境との調和や、地域との共存共栄の一層の徹底を図りながら、今後も多様なエコエネルギーの導入を促進し、地域におけるエネルギーの安定供給への貢献を図るとともに、省エネルギーの推進や、水素を軸とした新たな事業や

イノベーションに挑戦する企業を積極的に後押しし、「豊かなエネルギー先進県」を目指してまいります。

「S+3E」とは

安全性 (Safety) を大前提とし、自給率 (Energy Security)、経済効率性 (Economic Efficiency) 環境適合 (Environment) を同時達成することを目指す日本のエネルギー政策の原則のことです



自由民主党
井上 明夫 議員



日田彦山線BRTを契機とした地域振興

Q 路線の維持と地域振興を同時に果たしていくには、大胆かつ長期的な支援が必要と思われるが、日田彦山線BRTを契機とした地域振興の今後の支援策について、知事の見解を伺います。

A 昨年10月に、大肥(おおひ)の郷(さと)まちづくり会議の皆さんが策定した将来ビジョンの実現に向けて、これからが正念場です。県としては、次の3つを念



日田彦山線BRTの車両デザイン(あやめカラーver.)
※あやめの花は日田市のシンボル

頭に取組を支援していきます。1つ目は「地域を担うひとつづくり」です。BRT開業に伴うイベントや、特産品づくりといった、ビジョンに掲げた取組を実行していくには、まず人づくりが大切です。2つ目は「地域が輝く魅力づくり」です。大肥の郷の恵まれた地域資源を磨き上げ、観光コンテンツとして活用することで、誘客に繋げることが大事です。3つ目は「地域を支える基盤づくり」です。BRTの各駅と周辺地域を結ぶアクセス道路の改善や観光農園の整備など、地域の活性化に向けた整備が必要です。

Q 保育所・幼稚園等と児童発達支援センターとの連携を推進し、障がい児に対して、幼児期からきめ細かに対応していくことが大切であると考えますが、見解を伺います。

A 現在、保育所・幼稚園等と児童発達支援センターを併設する施設は、県内に6か所あり、個々の特性に応じた早期支援が行われています。保護者からも、療育に対するハードルが下がるとの声があります。

一方で、現行制度では、それぞれの施設で別々に保育や療養を行う必要があるため、職員や設備を兼ねることができません。

こうした中、国において、保育所等と児童発達支援センターが併設された場合に、職員の兼務や設備の共用を可能とする省令改正が行われ、県としても、改正条例案を今定例会に提案したところです。今後も、幼児期の子どもたちが、障がいの有無に関わらず、集団生活の中で、共に学び成長できる環境づくりを推進していきます。

3月10日(金)



自由民主党
今吉 次郎 議員



幼児期の発達障がい児への対応



県民クラブ
平岩 純子 議員



豊かな学びに向けた取組

Q 今こそ、学ぶ環境がしっかりと守られ、挑戦する意欲がそがれることがない教育環境の構築が必要だと考えますが、教育委員会の考える豊かな学びと、それに向けた取組について伺います。

A 県教委では、大分の将来を担う全ての子どもたちに、未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせるという理念を掲げています。

学校を取り巻く環境が変化する中、「芯の通った学校組織」の構築を図り、子どもたちの力と意欲を伸ばす教育環境の整備に取り組んできました。教職員の弛まぬ努力の成果は、小・中学生の学力や体力面などで現れてきています。

一方で、全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持つている」と回答する子どもの減少や、教職員の多忙化などの課題もあると認識しています。

子どもの力と意欲の向上に向けた組織的取組の推進や教職員が生き生きと働ける職場環境の実現を図るなど、「教育県大分」の創造に向けた努力を継続していきます。



自由民主党
井上 伸史 議員



人口減少対策

Q 本県の総人口の減少に歯止めがかかっていない状況ですが、人口減少対策にどのように取り組んでいくのか、知事の見解を伺います。

A 私はこれまで、自然増と社会増の両面から人口減少対策に取り組んできました。

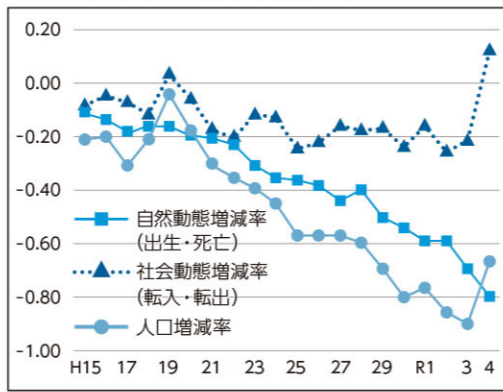
自然増対策では、子ども医療費の助成や保育料の減免など、子育て世帯の負担軽減をはじめ、出会いから結婚、妊娠・出産、子育てに至るまで、切れ目のない支援を図ってきました。

社会増対策では、中小・小規模事業者へのきめ細かな支援や先端技術への挑戦などの取組によって、地域経済を支え、県内各地に仕事を生み出すとともに、地方帰郷の流れを捉えた移住政策も好調です。

当面、自然増が見通せない中で、まずは社会増対策に力を入れてきた結果、直近の人口推計は15年ぶりの社会増となりました。

厳しい状況下でも、人と仕事の良い循環で地域を活性化する「大分県版地方創生」に更に力を入れていきたいと思っています。

本県の人口増減率の推移 (H15～R4)



可決された議案(議員提出)

○意見書(6件)

- ▽地域の中小企業・小規模事業者への支援充実を求める意見書
- ▽飼料・肥料等に係る価格高騰対策を求める意見書
- ▽新型コロナウイルス感染症の後遺症の人の日常を守る取組の強化を求める意見書
- ▽認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書
- ▽地域のグリーン・トランスフォーメーション(GX)の促進を求める意見書
- ▽アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書

可決された議案(委員会提出)

○条例(1件)

可決された議案(知事提出)

▽大分県政務活動費の交付に関する条例の一部改正について

- 予算(29件)
- ▽令和5年度大分県一般会計予算
- ▽令和4年度大分県一般会計補正予算(第5号) ほか
- 条例関係(12件)
- ▽大分県職員定数条例の一部改正について
- ▽おおいた子ども・子育て応援県民会議条例の一部改正について
- ▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について
- ▽大分県立自然公園条例の一部改正について
- ▽大分県立自然公園条例の一部改正について
- ▽大分県立歴史博物館の設置及び管理に関する条例等の一部改正について
- その他(10件)
- ▽令和5年度における農林水産関係事業に要する経費の市町村負担について
- ▽令和5年度における土木事業に要する経費の市町村負担について



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会による
これまでの調査結果の報告と知事への提言（令和5年第1回定例会）

3つの調査項目と知事への提言！

✓ 新型コロナウイルス感染症に対応する体制

- ① 医療提供体制と保健所機能
 - ・医療提供体制、救急医療体制の確保
 - ・県立病院の医療提供体制の確保
 - ・保健所機能の確保等
- ② 生活困窮者への切れ目ない支援
 - ・困窮世帯への支援
 - ・子ども食堂やフードバンク等に対する支援等

✓ 経済活動に対する支援と社会経済活性化

- ・事業者への伴走型支援
- ・個人消費の喚起



◀平岩純子委員長が定例会にて報告
報告書の内容はコチラ▶



✓ 安全・安心な新しい生活様式への対応

- ① 地方回帰の流れを捉えた移住定住の促進
- ② 教育現場における対応
 - ・児童生徒、教職員への支援
 - ・教育現場の感染対策等

持続可能な地域公共交通の実現に向けた政策提言（令和5年第1回定例会）
～ 非常事態は、歴史のプロセスを早送りする ～



地域公共交通は、生活になくてはならないものです。その一方で、人口減少による利用者の減少や、リモートワーク・ウェブ会議の急速な普及によって通勤や出張のために人々が移動する必要性が低下し、地域に公共交通があることが当然ではない時代になりつつあります。

政策検討協議会では、1年間にわたって、持続可能な地域公共交通の実現に向けた調査研究を行い、執行部に向けて政策提言を行いました。

◀古手川正治会長及び

羽野武男副会長から議長に報告

報告書の内容はコチラ▶



提言内容

- 1) 地域公共交通をマネジメントする専門人材の確保育成
- 2) 観光ニーズへの対応強化
- 3) 自家用有償旅客運送の更なる制度活用
- 4) デマンド交通*のサービス向上
- 5) コミュニティバスへの支援維持
- 6) ローカル鉄道の存続に向けた国への提言
- 7) 離島交通の在り方検討
- 8) 次世代モビリティの導入支援
- 9) 自動運転の動向注視
- 10) 交通税の動向注視

*デマンド交通：利用者の予約に応じる形で、運行経路やスケジュールをそれに合わせて運行する地域公共交通

勇退された
永年にわたり、県政の発展にご尽力いただいた8人の議員が



※知事・議長・副議長との記念撮影

- 河野成司 議員（公明党4期）
- 平岩純子 議員（県民クラブ5期）
- 尾島保彦 議員（県民クラブ3期）
- 馬場林 議員（県民クラブ3期）
- 藤田正道 議員（県民クラブ3期）
- 衛藤博昭 議員（自由民主党2期）
- 鴛海豊 議員（自由民主党2期）
- 井上伸史 議員（自由民主党6期）

常任委員会



以下の議案は全て
可決
されました

各常任委員会（3月開催）に付託された議案（予算案・補正予算案を除く）

※付託：本会議での質疑の後、詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会等に審査を託すこと

議案	付託委員会	議案	付託委員会
(令和5年度) 包括外部監査契約の締結について	総務企画	令和4年度における農林水産関係事業に要する経費の市町村負担について(補正)	農林水産
大分県職員定数条例の一部改正について(企業局職員定数の改定)	総務企画	令和5年度における農林水産関係事業に要する経費の市町村負担について(当初)	農林水産
職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正について(警察職員の身辺警護等作業に係る特殊勤務手当額の見直し)	総務企画	権利の放棄について(県有財産貸付契約に係る回収不能な債権の放棄)	農林水産
大分県退職手当基金条例の制定について(職員の退職手当の支給に要する経費の安定的な確保のための基金創設)	総務企画	大分県営土地改良事業分担金等徴収条例の一部改正について	農林水産
大分県使用料及び手数料条例等の一部改正について	総務企画	令和5年度における土木事業に要する経費の市町村負担について	土木建築
おおいた子ども・子育て応援県民会議条例の一部改正について	福祉保健生活環境	権利の放棄について(工事請負契約解除に伴う余剰前払金延納利息に係る回収不能な債権の放棄)	土木建築
児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について(自動車運行の際の児童の所在確認の義務付けなど子どもの安全確保に関する改正等)	福祉保健生活環境	大分県港湾施設管理条例等の一部改正について(専用使用(船舶係留)の使用許可期間の延長等)	土木建築
大分県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の一部改正について(ヘルメット着用努力義務対象者の拡大等)	福祉保健生活環境	工事委託契約の締結について(庄の原佐野線 下郡高架橋下部工)	土木建築
大分県立自然公園条例の一部改正について(自然体験活動促進計画制度の新設等)	福祉保健生活環境	訴えの提起について(長期家賃滞納者に家賃納入と明け渡しを求める訴訟の提起)	土木建築
大分県病院事業に係る料金条例の一部改正について(自動車損害賠償保障法の改正に伴う規定の整備)	福祉保健生活環境	工事請負契約の締結について(総合文化センター特定天井改修工事)	土木建築
権利の放棄について(医業未収金に係る回収不能な債権の放棄)	福祉保健生活環境	大分県立歴史博物館の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	文教警察

《各委員会での主な審査等内容》

- 総務企画委員会
「令和5年度一般会計予算案」における、日田彦山線BRT地域振興支援事業の補助金の使途や、ふるさと大分UIターン推進事業の移住の新たなターゲットなどについて
- 福祉保健生活環境委員会
「大分県病院事業中期事業計画(第五期)」や「性的少数者への理解促進に関する調査研究会の結果報告」「指定障害児通所支援事業所の指定取消」などについて
- 商工観光労働企業委員会
「企業誘致の状況」などについて
- 農林水産委員会
「ふるさと大分」の整備や「漁港の放置艇対策」や、海水温暖化に伴う影響などについて
- 土木建築委員会
「放置艇対策」や「大分県生活排水処理事業広域化・共同化計画の策定」などについて
- 文教警察委員会
警察官や教職員の不祥事などについての報告があり、その原因や児童生徒へのケアなどについて

せいがん ちんじょう
請願・陳情はどなたでも県議会に提出できます!



Q 請願・陳情ってそもそも何なの?



国や県に対して、要望や意見を伝えられる制度だよ。そうした要望や意見のうち、県議会議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情と呼んでるんだ!

請願・陳情はどちらも常任委員会で審査されるけれど、請願は本会議でも審査されて、採択された請願は執行機関に送付され、対応を求めるのが、大きな違いだね。



◀ 手続の詳細はこちら

過去に採択された請願の事例

- ・子どもたちへの新型コロナワクチン接種に関して配慮を求めることについて
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う鍼灸マッサージ施術所への支援をを求めることについて

表紙の題字の作成者

部員約30名、7月19日(水)に開催される席上揮毫大会に向けて全学年、腕を上げるべく毎日練習に励んでいます。

別府鶴見丘高校

宇都宮 珠実さん

の所属する書道部の様子をご紹介します!



県議会タイム

YouTube 第1回定例会のダイジェストをご覧ください!



あなたの1分で
 紙面が変わります!!

広報紙アンケートにご協力ください。



第2回定例会の予定

7月5日(水)~8月2日(水)

代表質問・一般質問

7月13日(木)~7月20日(木)

予算特別委員会・常任委員会

7月21日(金)~8月1日(火)



あなたの学校に議員が伺います!



議員が県議会の仕組みや議員の活動について解説します。
 (対象:小中高校や大学等)

**議員
 出前講座**

開催を希望する学校は、議会事務局までご相談ください。

点字版・音読版
 『県議会おおいた』のご案内

本紙の点字版・音読版を作成・配付しています。
 詳しくは議会事務局政策調査課まで。



大分県議会公式ツイッター
 (@oitakengikai)

本会議や委員会、広報活動など、議会の活動について発信していきます。
 ぜひフォローをお願いします!

